



The 59th Annual Meeting of The Japanese Respiratory Society

## 第59回日本呼吸器学会学術講演会

ランチョン  
セミナー  
31

# 結核低蔓延化に向けた IGRA の適正な解釈と活用方法

座長

佐々木 結花 先生

公益財団法人 結核予防会 複十字病院  
呼吸器センター 呼吸器内科

演者

永井 英明 先生

独立行政法人 国立病院機構東京病院  
呼吸器センター

日時

2019年4月14日(日) 11:50~12:50

会場

第10会場 (東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510)

共催

第59回日本呼吸器学会学術講演会 | オックスフォード・イムノテック株式会社

# 結核低蔓延化に向けた IGRA の適正な解釈と活用方法

演者

永井 英明 先生

独立行政法人 国立病院機構東京病院 呼吸器センター

わが国で用いられている Interferon-Gamma Release Assay (IGRA) は T-SPOT®.TB と QuantiFERON®-TB ゴールドプラスである。ともに感度、特異度の優れた結核感染診断法である。IGRA は潜在性結核感染症 (LTBI) を診断するための検査法であり、活動性結核の確定診断には用いない。結核菌を吸入し感染が成立した場合 (IGRA が陽転)、直ちに発病する人は約 5% であり、残りの人の約 5% がその後発病する。LTBI は結核菌に感染しているが発病していない状態を指し、発病を抑えるための治療を行う対象となっている。IGRA が用いられるのは、主に接触者健診、医療従事者の健康管理、発病危険のある患者・免疫抑制状態にある患者の健康管理である。IGRA を行う場合、検査結果をどのように利用するかを決めてから行うことが重要である。IGRA の陽性的中率は結核の有病率の高い集団ほど高率となり、有病率の低い集団では低率が偽陽性が増える。陽性と出た場合、それが「真」の陽性かどうかについては画像や過去の接触歴なども含め総合的に判断する。IGRA の問題点として、検体の扱い及び処理の仕方が結果に及ぼす影響、免疫不全の影響、リンパ球数の結果に及ぼす影響、不安定な再現性、値の変動などが指摘されてきた。IGRA では生きた細胞を扱うので、検体の扱いを含めた精度管理がきわめて重要である。

Access

## 東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号



Floor Map

## 第 10 会場 ガラス棟 5F G510



※駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。駐車券などのご用意はございません。

成田空港から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リムジンバス 東京駅まで 80 ~ 90 分</li> <li>・JR 成田エクスプレス 東京駅まで 53 分</li> </ul>
羽田空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレール浜松町駅まで 23 分</li> <li>・JR 浜松町駅より有楽町駅まで 4 分</li> </ul>
JR 線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京駅より徒歩 5 分 (京葉線東京駅と B1F 地下コンコースにて連絡)</li> <li>・有楽町駅より徒歩 1 分</li> </ul>

地下鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有楽町線 有楽町駅 D5 出口 (B1F 地下コンコースにて連絡)</li> <li>・日比谷線 銀座駅より徒歩 5 分 / 日比谷駅より徒歩 5 分</li> <li>・千代田線 二重橋前駅より徒歩 5 分 / 日比谷駅より徒歩 7 分</li> <li>・丸の内線 銀座駅より徒歩 5 分</li> <li>・銀座線 銀座駅より徒歩 7 分 / 京橋駅より徒歩 7 分</li> <li>・三田線 日比谷駅より徒歩 5 分</li> </ul>
-----	--